JAしまねびより

2018
2
February Vol.23

特集 島根のいいもの再発見‼「津和野町 タラの芽」西いわみ地区本部

JAしまね 西いわみ地区本部版

島根には誇れる農産品がたーっくさん!

島根のいいもの再発見!!

直撃・生産者インタビュー

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。
毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます!

【津和野町　タラの芽】

2月は、西いわみ地区本部。鹿足郡津和野町で、山菜を生産している、日原タラの芽生産組合の永田寿秋組合長、生産第一人者の田中幸一さん、お二人にお話しをお伺いしてきました。

商人集落きっての商人、田中さん。

タラの芽の生産をはじめてどのくらいになりますか?

昭和62年から、日原の商人(あきんど)集落で生産への挑戦がはじまりました。その後こごみ、ウルイなどの山菜の栽培も加わり、昨年でちょうど30年になります。この辺りは中国山地の山あいに位置しており、高津川の支流が流れ、水は綺麗で自然豊かな反面、平坦な農用地が1パーセント未満の中山間地。

平野が広がる地域で栽培される品目と同じものを生産するには、地理的な制約や生産効率が悪く、農業を続けていくのが難しい地域です。農業を生業(なりわい)として暮らしていくためには、山の民らしく、山菜を作るのが一番良いのではないかと考えました。もともとこの商人集落では、時代ごとに生産品目が変わってきました。中山間地というハンデがあることで、いろんな品目に挑戦し続け、チャレンジ精神が旺盛な農業人が多くいた証です。

山の民という言葉に、中山間地域の課題解決法の一端を感じた。

どのように栽培するのですか?

タラノキの母樹を畑に一定間隔に植えて、芽吹かせるための原木を1年で約2メートル50センチ程度の高さに育てます。その後原木を10センチ前後に切った「駒木」にして、ハウスの中のベンチに並べて育てます。7センチ程度になった芽を選定し、ハサミで一つずつ丁寧に摘み取り収穫します。収穫したものは50グラム・5本前後にパック詰めにしたものを全量、JAしまねに出荷しています。1月から本格的に出荷がはじ

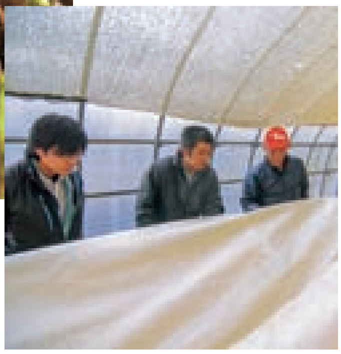
勝手なイメージとは違う「山菜」の生産現場の風景が広がっていました。

研究の末に辿り着いた、生育に適した環境の中にはタラの芽がびっしりと。

まり、4、5月頃まで続きます。県内はじめ、関西や九州などの市場へ出荷しています。

これまでに苦労してきたことや、大変なことなどありますか?

栽培をはじめた当初は、何よりも視察に行く場所がほとんどありませんでした。中・四国や九州はじめ先進地が全くないなかで、農業系の印刷媒体でタラの芽の記事を見つけ、載っていた山梨の生産組合長に会いに行き、栽培方法を学びました。ただ、再現してもなかなか上手くできない年月が続き、38人いた組合員は9人にまで減った時期もありました。なぜ上手くできないのか山に入って自生しているタラノキを徹底的に研究し、試行錯誤を繰り返しながら平成4年頃から、少しずつ地域にマッチした技術体系が出来上がってきました。現在はIターンしてきた7人を加えて、組合員も38人まで回復。U・Iターンの若い就農者はじめ、どんどん受け入れて生産量を増やす努力を続けています。



ベンチに詰まるノウハウと技術は、部会外へは門外不出。特別に見せていただきました。

タラの芽のオススメの食べ方などありますか?

「はかま」と呼ばれる茶色い皮をむいて、天ぷらなど、単純な味付けや調理方法で味わうのがオススメです。技術の進歩で1年中食べられる食材が増えましたが、タラの芽は春を感じる季節食材。ほのかで上品な苦味、ほっくりとした歯ごたえを楽しんでもらいたいです。天ぷらのほか、さっと茹でて酢味噌を付けて食べても美味しいですし、バター炒め、火を通したタラの芽に、すり胡麻と醤油・砂糖であえた胡麻あえも風味いっぱいで味をしっかり感じることができます。

今後の抱負や展望を聞かせてください。

山菜はもともと、季節の旬の食材として料亭等の高級店で重宝されてきましたが、多くの人に食べてもらおうとJAとタッグを組みながら大事に育ててきました。猫の額ほどの小さな面積でも露地を最大限に活用。タラの芽からスタートした山菜づくりは、今では数種類の山菜を栽培するまでになりました。これまでのファンの人達に品質・鮮度の高い自慢の山菜を届け続けるのはもちろん、誰でも気軽に食べることができる、身近な食材としてPRしていきます。ここ数年は、若いU・Iターン者も加わり生産量も増加しています。これまで組合の門を叩いて出て行った人はいません。新規就農者には、徹底したサポートを心掛け、苦労して確立した技術の伝授を既存の組合員全員が惜しみなく協力しています。これからの30年は勢いのあるものと信じ、総合的な山菜の産地として広く知られる地域になるよう取り組んでいきます。

これまでの取り組みを次のステップへ。永田組合長のまっすぐな眼差しが印象的でした。

真っ白な姿の「ウルイ」。山菜といえば日原と言われるよう様々な品種で市場のニーズへ。

タラの芽 一口メモ

日本全国の山に自生しているタラノキはウコギ科の落葉低木。新芽を「タラの芽」「タランボ」と呼び、春の訪れを感じる食材として「山菜の王様」と言われている。島根のほか山形や富山、徳島などで栽培。たらの芽はカリウムを多く含み、食物繊維や葉酸などのビタミンが豊富で、古くから薬用、食用として愛されている。津和野・吉賀両町と益田市の生産者で組織する日原タラの芽生産組合では、タラの芽のほか、ウルイ、こごみ、フキノトウなどの山菜を栽培している。

Q　ＪＡの「自己改革」って何？

A　「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の３つを基本目標に、ＪＡが自ら進める改革のことを言います。ＪＡしまねでは、役職員の意識改革に取り組み、組合員との対話やアンケートにより組合員の声を事業に反映できるよう努めていきます。また統合のメリットを発揮し所得増大や生産拡大につながる以下のような取り組みを行っています。

JA 自己改革 実践中 JAグループ島根

JAしまねの取り組み

- ☑営農座談会や各種集会などで、役職員が組合員の皆さまから直接意見や要望をいただく機会を増やします。
- ☑島根県全域で振興・生産を奨励する品目を県域品目として、地区本部が独自に振興していく品目を地域品目として、本店と地区本部が連携して生産振興・販売対策を行っています。
- ☑生産資材(肥料・農薬等)の銘柄を集約し、統合メリットを生かした共同購入により、徹底した価格交渉の上、コスト低減に取り組んでいます。
- ☑改正農協法に伴い、次回の役員改選（平成31年６月）に向けて、農業の現場の意見・ノウハウが反映されるように検討を始めています。
- ☑地域の活性化実現に向けて、営農だけでなく食農教育や社会貢献活動、子育て支援活動などのくらしの活動を行うとともに、ＪＡの「総合事業」を通じて地域のインフラの一翼を担っています。

ＪＡの自己改革に関する組合員アンケートへのご協力について

ＪＡしまねでは、自己改革の取り組みに対する皆様の評価をお伺いして、より一層組合員の皆様の負託に応えるとともに、組合員の協同による総合事業によって、魅力ある地域の農業やくらしを支えるＪＡであるために、無作為に選ばせていただいた3,000名を対象に組合員アンケートを実施することといたしました。

3月1日（木）から22日（木）の期間に、対象者の皆様宅へご訪問させていただきますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

理事会情報（12月25日開催）

協議事項

①平成29年度ＪＡしまね農業振興支援事業 第4回（12月）申請について
②平成30年度農業振興支援事業の要項・要領（案）について
③平成29年産島根米の追加確定金単価について
④畜安法改正に伴う生乳受託販売規程の一部改正について
⑤くにびき地区本部旅行業務の農協観光への移管と旅行センター廃止について
⑥資産査定要項等の一部改正について
⑦組合と理事との取引（契約）の承認について
⑧組織基盤強化における役職員の増資運動について
⑨重要な就業規則制裁条項の適用について

報告事項

①アグリミーティング・島根大産直市について
②平成30年産米の生産数量の目安について
③米穀園芸情勢について
④畜産情勢について
⑤全農肥料集約銘柄最終決定仕入価格について
⑥高齢者ＡＴＭ取引の制限について
⑦相続事務手続き支援システムの導入について
⑧平成29年度第４四半期の余裕金運用計画額および運用方針について
⑨平成29年度ＪＡ共済コンプライアンス点検結果報告について
⑩重大な不祥事件報告および対応について
⑪平成29年度反社会的勢力の三次認定について
⑫事務ミス報告について
⑬組合と理事との取引（契約）の報告について
⑭自主検査実施報告について
⑮平成29年度農林水産省・島根県（二者）による検査結果について
⑯平成29年11月末月次決算報告について
⑰「出雲コーチン」の商標登録について
⑱業務用固定電話会社の統一について
⑲電気使用量抑制に向けた現場調査の実施について
⑳ＪＡしまね本店の施設管理について
㉑「ＪＡの自己改革に関する組合員調査」試行調査の実施について
㉒平成29年度年末賞与交渉結果について
㉓外部有識者会議の設置、諮問について
㉔事業運営改革の取り組み状況について
その他① 農政をめぐる情勢について
その他② 青年・女性理事 活動報告等

雲南

部署間連携で提案力強化 利用者の満足度向上を目指す

雲南地区本部は部署間連携に積極的に取り組んでいます。その一環で「クルマスターの日」と命名した自動車共済推進強化期間では、共済窓口担当者やLA（ライフアドバイザー）、事故処理対応をする自動車共済審査員の三者の専門性などを活かし、自動車共済の最高水準保障「クルマスター」契約による万全保障の必要性を利用者へ呼び掛け、より安心していただける保障の提案を目指しています。

1月12日には地区本部で「クルマスターの日」の進発式を行いました。役職員40人が集まり、情勢報告や連携をより強めるためにはどうすればよいかを支店毎に話し合いました。

同地区本部の竹下克美副本部長は「部署の枠を越えて一体的に取り組み、利用者のためのJAを目指して欲しい」と話し、今後連携した活動を恒常化したい考えです。

地域ナンバー1を目指し一丸となる職員

くにびき

くにびきキャベツ出荷！ 厳寒乗り越え甘味強く

東出雲町揖屋の干拓地で育った「くにびきキャベツ」の出荷が盛んになっています。6月ごろまで出荷は続き、生産者は収穫作業や選別で多忙を極めています。

くにびきキャベツは、中海干拓地で栽培されるキャベツのことで、関西圏を中心に年間730～1,000トンの出荷量を誇り、県内産キャベツの出荷量の大半を占めます。平成24年には、高い品質と安全性を有した農林水産物だけが受けられる「美味（おい）しまね認証」にも選ばれました。

12月中旬ごろから本格化した出荷作業は、寒波の到来もあり、雪が降る中で収穫する日もありましたが、生産者は丁寧な手つきでキャベツを箱詰めしていきました。中海干拓事業所の小室陽二所長は「寒さを越えたキャベツは甘味が強くおいしい」とPRしました。

収穫したキャベツを箱詰めする生産者

隠岐

水稲栽培研修会を開催

隠岐地区本部は1月19日、隠岐島文化会館で平成29年度水稲栽培研修会を開催しました。

水稲生産者、関係機関約30人が出席し、29年産米の集荷状況や品質、30年産以降の取組方針、経営所得安定対策の概況、きぬむすめの栽培方法、省力化資材などの説明を行いました。

この研修会は、平成27年のJA統合を機に毎年開催しており、今回で3回目となりますが、30年産から始まる新たな生産調整の中でも売れる米作りに取り組む必要があることから、コシヒカリからきぬむすめへの品種誘導に重点をおいた内容で開催しました。

隠岐の島町産米については、特に飯米農家を中心にコシヒカリの作付けが多く、近年の気候変動などから品質が不安定で1等米比率のばらつきも見られ、収支的にも不安定な状況となっています。同地区本部では新たな生産調整も考慮し、近年比較的安定しているきぬむすめへ作付移行していく方向で現在取り組んでいます。西郷ライスセンターでは乾燥機を新たに整備したことで受入れ体制を整え、対応をしています。

やすぎ

新たな取り組みへ安全祈願

やすぎ地区本部は安来市飯島町にある「JAしまね　やすぎデイサービスセンターふれあい」の建物新築工事に伴い、工事期間中の安全を願って、12月27日に安全祈願祭（地鎮祭）を執り行いました。

地域、とりわけ農家組合員家庭において今日問題とされるのは、後継者不足や組合員の高齢化とともに、家族の介護にかかる問題です。今後JAが取り組む介護福祉事業に対する期待が高まることは必至であり、JAとしても組合員のみならず、地域社会から求められる事業として取り組んでいかなければなりません。

今回のデイサービスセンター建物新築に伴い、ご利用者の皆様、地域の皆様のご期待に応え、より良いサービス提供に努める所存です。

斐　川

出荷者協議会感謝の集い開催

1月10日、JAしまね斐川グリーンセンターに野菜等を出荷する生産者で構成されている野菜等出荷者協議会が、斐川町内にある出雲空港ホテルで「感謝の集い」を開催しました。

当日は関係者を含め約130人が参加し、昼食を食べながらお互いに情報交換したり近況報告をしたりしながら親睦を深めました。催し物では、JAしまね米穀園芸部の須山一部長補佐による「最先端の産直市場」「美しい出荷物の例」についての紹介と、福間花子さんと白石勢津子さんによる「出雲弁の寸劇」が披露され、日常の会話を面白おかしく話す内容に、笑いの渦が巻き起こり、会場は大いに盛り上がりました。

出荷者協議会ではこのような集いを毎年開催しており、今年で13回目となりました。年を重ねるごとに仲間の輪も広がり、元気に楽しく活動できることに感謝しながら、皆さん和やかなひと時を過ごされました。

出雲弁の寸劇披露

隠岐
どうぜん

産直部会総会開催

JAしまね西ノ島支店産直部会は1月26日、西ノ島支店で「第5回JAしまね西ノ島支店産直部会通常総会」および「第5回農産物持寄会」を開催しました。当日は、今冬いちばんの積雪と寒風のなか、約20人の産直会員の参加がありました。

総会では、上程した議案の承認の他、昨年実施した斐川地区本部や同地区本部管内の農家への視察研修の報告を行いました。

積雪で農産物の集荷が危ぶまれた持寄会では、展示した農産物を会員が相互に評価し、会長賞1点、副会長賞2点、本部長賞1点を選出して、各受賞者から「ワンポイント栽培法」を教えていただきました。また、隠岐支庁農林局農業専門普及員の矢野仁士さんよる「春野菜作り講習会」を受講し、今期販売高10%アップを目標とすることとして、和気あいあいのうちに全日程を終了しました。

石見銀山

女性部が「ＪＡ自己改革研修会」

JAしまね石見銀山女性部が、1月18日に大田パストラルで「JA自己改革研修会」を開き、フレミズを含む支部長13人が出席しました。

研修会では、石見銀山地区本部の山﨑辰次本部長を講師に、JAや地域農業がおかれた状況や、自己改革の進め方について、身近な例えを挙げながら説明を受けました。山﨑本部長は「JA綱領が謳うこの国の豊かさは、中山間地の小規模な農業が築いてきたもの。JAは自己改革により体質強化し、地域のくらしを守っていく」と、女性部への理解と協力を求めました。同女性部の森脇岸江部長は「自己改革は私たちの問題でもある。運動の実践者として、JAとともに改革に挑戦し、地域のくらしを支えていきたい」と感想を話しました。

同女性部では毎年1月にJA役職員との意見交換会を開いており、今年は趣向を変え、間近に期限が迫る自己改革についての研修会としました。研修会にはJA各部門の部長も同席し、自己改革の他、事業に関する要望にも応えました。同JA安江浩樹総務部長は「女性部がJAとともに取り組む教育文化活動こそJA自己改革の入り口である。今後も力強く進めてほしい」と支部長を激励。JA、JA女性部の気持ちを一つに自己改革を進める決意を固めました。

山﨑本部長（中央）の説明により
JA自己改革への理解を深める女性部員

出　雲

ラピタ恒例のとんど祭り 無病息災を願う

生活購買店舗「ラピタ」は1月12日、出雲市神西沖町で「とんど祭り」を開きました。ラピタのとんど祭りは、小正月行事の火祭りとして昭和40年ごろから続く恒例の催しです。

ラピタでは、とんど祭りを行わない家庭向けに、市内全9店舗に正月飾りの回収箱を設置。集められたしめ縄などは山のように積み上げられ、点火すると大きな炎が舞い上がりました。雪が舞う中、訪れた地域住民は立ち昇る火を囲み、今年の無病息災を願いました。

同地区本部生活部の川上弘信部長は「地域に根ざしたラピタとして、伝統行事を守ることには意義があると考えています」と話しました。

無病息災を願って火にあたる地域住民

島根おおち　米のヒット甲子園で大賞受賞

島根おおち地区本部では、「販売に結びついた米作り」として、「石見高原ハーブ米」の生産振興に取り組んでいます。

この度「石見高原ハーブ米きぬむすめ」が日経トレンディー主催「米のヒット甲子園」で全国195銘柄の中から9銘柄に選ばれ、「今一番食べてほしいお米」の大賞米に選ばれました。大賞米は東京自由が丘の料理店で期間限定特別ランチメニュー「ごはんがすすむ京のおかず御膳」として提供されました。

「石見高原ハーブ米」はクローバーを稲刈り後の水田で育て、田植え前の緑肥としてすき込むことで化学肥料を99%抑えた方法で栽培しています。農薬は通常の5割減で取り組み、環境にやさしい「エコロジー農産物」として生産しており、広島や東京方面へ販売しています。10年以上にわたるハーブ米の取り組みが評価されたことを糧に、より安心安全な売れる米づくりを目指していきます。お問い合わせはJAしまね島根おおち地区本部米穀農産課（TEL：0855-83-1623）まで。

「米のヒット甲子園」とは

全国の五ツ星お米マイスターに、お薦めの新米を3つ挙げてもらい、得票数で上位に選出された9銘柄を対象に味覚審査会を実施。審査委員長を含む7人の審査委員が官能審査で大賞米を選ぶ。消費者目線からお米の味と米食の魅力を伝え、一層おいしくお米を食べる日々をサポートする。

西いわみ　「吉賀美玉」に決定　吉賀米のネーミングとロゴの表彰式を実施

吉賀米推進協議会（会長吉村諭）は12月22日、吉賀米のネーミングとロゴマークの表彰式を鹿足郡吉賀町の県立吉賀高等学校で行いました。

同協議会は、生産者16人で農薬と化学肥料を県基準の半分以下に抑えながら、清流高津川の源流地で安心安全な米作りに取り組んでいます。生産した米は「吉賀米」として大阪市内の米穀店などで販売していますが、産地間競争が激化していることから、多産地との差別化をPRするため、新たな名称とロゴマークを作成し、ブランド化を図ることとしました。地元一丸となった取り組みとするため、町の未来を担う地元高校生にアイデアを募集、昨年7月にプレゼン大会を開催し、審査を行いました。その結果、ネーミングは同校2年生の秋山一平さんの「吉賀美玉（よしかびぎょく）」が、ロゴマークは3年生の大庭智里さんの、清流高津川が流れる吉賀町を茶碗に見立て、その中で育つ稲穂をテーマにした作品が選ばれました。

同協議会は「これをきっかけに高校生や地元住民と一体となった活動で地域を盛り上げてほしい」と意気込みを語りました。

ネーミングを考えた秋山さん（右から2人目）とロゴを考えた大庭さん（左から2人目）

いわみ中央　いわみの母ちゃん漬け　漬け込み作業始まる

いわみ中央地区本部では、JA弥栄女性部（部長 徳田マスヱ）が大根の栽培から加工まで行って作るたくあん漬け「いわみの母ちゃん漬」を販売しています。今年度も、昨年9月に大根の種を播き、11月に約2,000本を収穫しました。収穫した大根は、洗って陰干しします。12月に陰干しした大根を塩漬けし、1月に大根の本漬け作業を女性部員で行いました。

無添加の昔ながらのいわみの母ちゃん漬は好評で、「懐かしいたくあんの味で、古漬けになっても美味しいから、毎年買っています」という消費者の声も聞きます。昨年度から、JA女性部弥栄独自の加工事業として取り組み、部員みんなで楽しみながら取り組んでいるところです。4月になると販売がスタートします。

まちむらネットワーク MACHI MURA Network

トマト部会 秋作トマト出荷反省会開催

益田トマト部会（部会長大畑広史）は1月25日、益田市駅前町の西いわみ地区本部で平成29年産秋作トマト出荷反省会を開きました。

部会員や関係者30人が出席した反省会では、広島市、益田市の市場関係者やJA担当職員らが取扱、販売実績報告を行いました。

平成29年産は出荷数量が約219t、販売金額は8,872万円で販売高は前年対比の102・5％となりました。

JAしまね西いわみ地区本部田村清己本部長は「部会員の皆さんや市場関係者の努力のおかげで天候不順で難しい状況の中、成果を出していただき感謝している」と話しました。

また、成績優秀部員として、土耕の部最優秀賞の宅野和樹さん、養液の部最優秀賞の大場弘行さん、土耕の部優秀賞（広印広島青果賞）の又賀保さんが表彰されました。

表彰を受ける又賀保さん

表彰を受ける大場弘行さん

表彰を受ける宅野和樹さん

フレッシュミズ部会 ストレッチポール教室開催

JAしまね西いわみ女性部フレッシュミズ部会（部会長藤井泰余）は、1月10日、益田市駅前町の西いわみ地区本部でストレッチポール教室を開きました。

当日は7名の部員が参加し、講師にはJAしまね厚生連鐘築職員を招き初心者向きのストレッチポールを教えていただきました。

ストレッチポールは体の歪みを直したり、脳をリラックスさせたりと全身を緊張から解き放ち体を本来あるべき状態に整える体操です。

参加した部員は「とても気持ち良かった」と感想を話しました。

またこの日は、来年度の活動計画が話し合われ、アロマ講習等を受けてみたいという要望がありました。

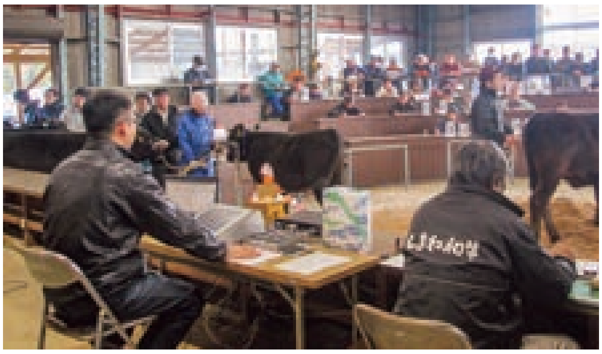
西部家畜市場で初セリ開催

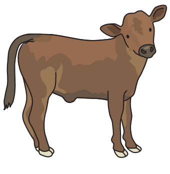
JAしまねは1月16日、平成30年の子牛市場初セリを開きました。

益田市遠田町の西部家畜市場で行った初セリには、地元益田市を始め、浜田市、吉賀町など近隣市町から雌牛41頭、去勢牛69頭の合計110頭が上場され、初セリに相応しい活発な取引が展開されました。

当日取引の雌牛の平均価格は651,348円、最高価格は810,000円、去勢牛の平均価格は789,480円、最高価格は1,004,400円となり、活気のある市場となりました。

JA担当職員は「これからも生産者、関係者と一つになって消費者に求められる子牛づくりに努めていきたい」と感想を話しました。





JA女性部春蒔き野菜講習会開催

JA女性部鎌手ブロック（ブロック長野村啓子）と安田ブロック（ブロック長岡崎いつ子）は1月23日と1月26日に鎌手地区振興センターと中遠田集会所で春蒔き野菜講習会を開きました。

鎌手ブロックは20名、安田ブロックは17名が参加。講師に㈲山陰種苗の大畑整社長を招き、イラスト付の参考資料をもとに、基礎からの野菜づくりの説明をうけました。トマト、ナス、かぼちゃやスイカ等の植え付けについて教わり、受講者からは農薬や肥料について、モグラ退治について質問がありました。

鎌手ブロックでの講習会の様子

安田ブロックでの講習会の様子

平成29年度益田メロン部会総会開催

JAしまね益田メロン部会（部会長松本哲夫）は1月12日、益田市駅前町のJAしまね西いわみ地区本部で平成29年度の通常総会を開きました。

平成29年度事業と収支決算報告および平成30年度事業計画案と収支予算案が協議され承認されました。

今年度の実績はアムス・アールス合計出荷量655,777kg、販売金額320,391,982円で前年対比102.3%となりました。

松本部会長はあいさつで「長雨や日照不足の中、常に良いメロンを作って出荷する事は大変だが、市場との信頼関係においてもとても大事。皆で初心にかえり、来年度の活動も頑張っていきたい」と話しました。また、共励会表彰式が行われ、総販売高の部で芝田支部の宅野義則さんが、特別賞（山陰種苗賞）で矢原支部の山本仁成さんが、アムスメロン、夏作アールスメロン最優秀支部の部では矢原支部が、秋作アールスメロン最優秀支部の部では芝田支部が表彰されました。

表彰を受ける山本仁成さん

JA女性部美都ブロックミニデイサービス開催

JA女性部美都ブロック（ブロック長元岡タツ子）は1月16日、益田市美都町丸茂の丸茂自治会館でミニデイサービスを開きました。

当日は地域住民、JA女性部部員合わせて35名が参加。益田市の美都総合支所の吉田職員を講師に招き、健康教室を開きました。

日本は世界でも長寿国で有名だが、これからは健康で長生きすることと、健康寿命を延ばすことに力を入れていこうということで、参加者は「体を守る10の質問」アンケートを記入し、日常生活で気をつけたい点を確認しました。

その後は参加者で2班に分かれてゲーゴルゲームを行い、楽しいひと時を過ごしました。

昼食は、JA女性部美都ブロックの皆さんに旬の野菜を使った料理を作って頂き、参加者全員でいただきました。

美都ブロックでは2月に仙道地区でもミニデイサービスを行なう予定です。

職員が「ニコ・ニコおむすび大作戦」を決行！

JAではJA女性組織を中心に米の消費拡大の為、それぞれおむすびを二個作って、誰かに食べてもらおうと、「ニコ・ニコおむすび大作戦」を展開しており、西いわみ地区本部では1月4日、職員が地元生産者から提供いただいた野菜を使って豚汁とおにぎらずを作りました。

「おむすびはつくったことがあるけどおにぎらずは初めて」という職員もおり、いろんな形のおにぎらずができました。

自分でつくったおにぎらずを他の職員と交換し、おいしくいただきました。

農作業

畜産

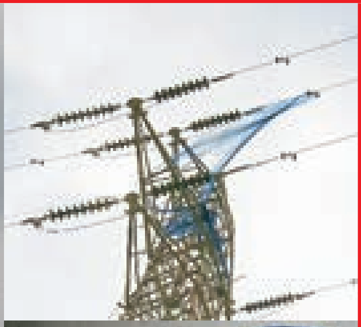
1月の子牛市場

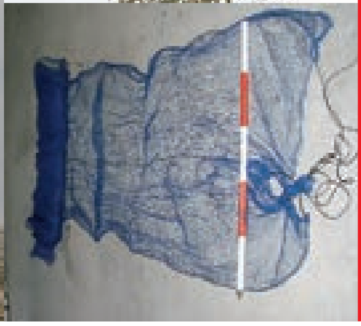
1月16日㈫に雌41頭、去勢69頭、計110頭の上場により、平成30年最初となる1月の西部家畜市場が開設されました。全国的な寒波により市場当日の天候が心配されましたが、当日は穏やかな天候で出荷牛の搬入等、事故もなく無事開催されました。上場牛の日齢、発育等バラつきが散見されたため個体差はあったものの全国的な相場が堅調に推移していること、普段よりも購買者の人数が多かったことから平均価格が雌651千円（前回比99%）、去勢789千円（前回比105%）、計738千円（前回比104%）と、全体的にやや上昇しました。次回の市場開設日は平成30年3月13日㈫、セリ開始時間は9：30からとなっております。出荷を予定されている方は寒冷対策などを行い、事故や疾病等無いよう、お願いします。

1月西部子牛市場成績（税込み）　　（単位：円・kg）

市町村	性別	頭数	最　高	最　低	平　均	平均体重
益田市（益　田）	雌	26	791,640	216,000	639,775	275
	去勢	47	1,004,400	488,160	802,752	304
	計	73			743,070	294
益田市（美　都）	雌	3	775,440	651,240	726,120	281
	去勢	1	843,480	843,480	843,480	317
	計	4			755,460	290
益田市（匹　見）	雌					
	去勢	1	710,640		710,640	314
	計				710,640	314
津和野町（津和野）	雌	3	771,120	542,160	634,320	277
	去勢	3	844,560	736,560	796,320	318
	計	6			715,320	297
津和野町（日　原）	雌	6	747,360	401,760	566,352	269
	去勢	7	943,920	396,360	769,114	292
	計	13			684,630	282
吉賀町（柿　木）	雌	1	606,960		606,960	256
	去勢	2	650,160	574,560	612,360	271
	計	3			610,560	266
吉賀町（六日市）	雌	3	810,000	731,160	774,720	313
	去勢					
	計	3			774,720	313
西部市場総合計	雌	41	810,000	401,760	651,002	279
	去勢	69	1,004,400	396,360	789,480	303
	計	110			730,302	293

農業用シートによる電気事故防止のお願い





シート等は重石をのせるか，シート等の端を確実に留めて，強風で飛ばないようにお願いします。

万が一，シート等が電線に掛かった場合は下記へご連絡ください。

平　　日：中国電力㈱益田電力所　送電課　　電話 0856-24-1062
休日・夜間：中国電力㈱　岡山カスタマーセンター　電話 0120-314-806

付帯取引	付与ポイント	付帯取引	付与ポイント
給与振込または年金振込	600	教育ローン（既存）	300
年金予約	300	カードローン	300
住宅ローン	300	ＪＡカード	300
マイカーローン（既存）	300	ネットバンク	300

自動車共済ご契約者の皆様へお知らせ

平素は、ＪＡ共済事業につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、自動車事故における対応につきまして、ご契約者の皆様へのより一層の対応力の強化と損害調査業務の専門性の強化を図るため、平成30年４月よりＪＡとＪＡ共済連の機能分担を一部変更させていただきますのでお知らせいたします。

【万一、交通事故に遭われた場合】

交通事故受付手続き・日中現場急行対応は変わりません。

連絡先窓口は基本的に今までと変わりません。最寄りのＪＡしまね西いわみ地区本部共済担当部署にご連絡いただくか、夜間・休日であればＪＡ共済事故受付センターまでご連絡いただければ、担当者が対応させていただきます。

－ご連絡先－

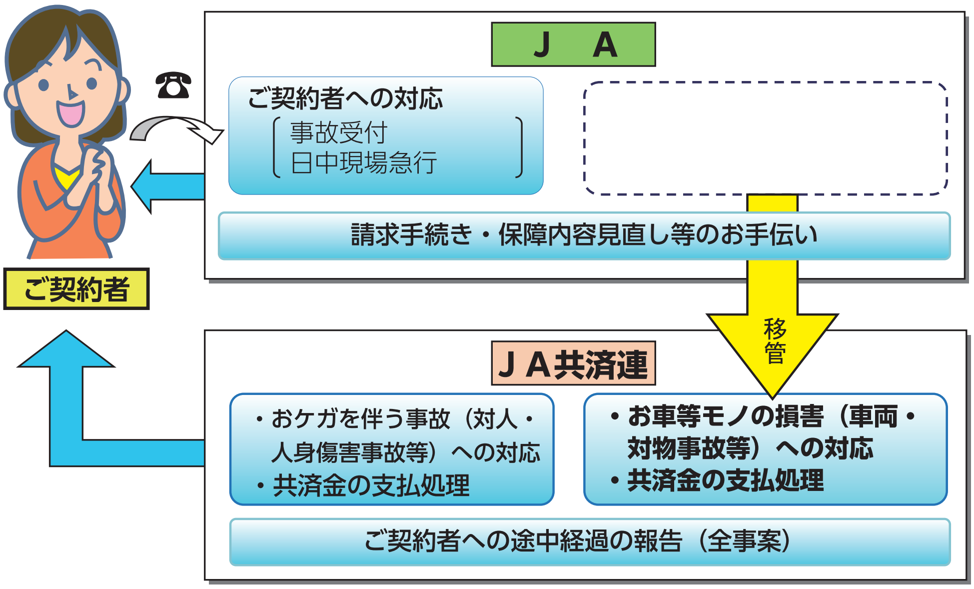
西いわみ地区本部共済課　TEL 0856-22-5880
ＪＡ共済事故受付センター　TEL 0120-258-931

【主な変更内容】

相手方との交渉や共済金のお支払いについては、車両・対物事故等もあわせて今後はＪＡ共済連の損害調査サービスセンター（ＳＣ）の担当者が行います。交渉経過の報告や共済金のお支払いについてもＳＣ担当者から直接ご契約者の皆様へ連絡させていただきます。

ＪＡしまねならびにＪＡ共済連は、今まで以上に高品質なサービスの提供に努めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

【変更のイメージ】（平成30年4月～）



人事異動

（　）内は旧部署

依願退職

〔平成29年11月30日付〕
【臨時職員】
大中　一恵
津和野支店
経済センターしろやま

〔平成29年12月31日付〕
【臨時職員】
勝部　裕美子
企画管理部総務課付

寺戸　祥江
営農経済部経済課
グリーンセンター

採用

〔平成30年1月1日付〕
【臨時職員】
美都支店経済課
齋藤　一則

異動

〔平成30年1月1日付〕
【臨時職員】
営農経済部経済課
グリーンセンター
河野　美穂子
（美都支店経済課）

生産者の皆様へ

27年産共同計算最終精算金端額の扱いについて

27年産島根米の最終精算を実施し、生産者の皆様には平成**29年12月15日**に振込いたしました。これまでの共同計算での最終精算による端額については、翌年共同計算に繰り越しをしてきましたが、ＪＡしまねは28年産島根米から「買取」手法による集荷・販売に移行しました。よって、27年産島根米の最終精算時における端額**12,121円**については、繰り越すことが出来ないため「食農教育・営農改善費・産米改良経費等」に充当させて頂きますのでご理解願います。

西いわみ地区本部　営農経済部　米穀課

３月の無料年金相談会～お気軽にご相談を～

年金定期便、年金手帳、印鑑、裁定請求書、年金証書等をご持参いただきますと、より具体的な相談ができます。はじめての方や、現在受けている年金に疑問をお持ちの方もお気軽に相談でき、秘密は固く守られます。どうぞ、お近くの会場にお越しください。

☆西いわみ地区本部金融部年金相談センター☆
（0856-22-8680）は、
平日（8:30～17:00）いつでも
ご相談いただけます。

３月の年金相談会

8日㈭	柿木支店	午後2時～午後6時	ＪＡ年金相談員
15日㈭	益田支店	午後2時～午後6時	波田社会保険労務士

※日程･社会保険労務士は変更になる場合があります。

にしいわみひろば　読者の川柳

お題「思い出」

つごもりの　冷気に心　清められ　（益田市　高橋いつこさん）
今になり　清く正しく　生きたかな　（益田市　喜村　信江さん）
清らかな　水仙香り　深呼吸　（益田市　柳井　文江さん）
生きる事　清く明るく　暮したや　（益田市　弥重フジ子さん）
新年を　寿ぎ清酒　初しぼり　（益田市　高橋しげこさん）
神棚に　清き水酌　健康祈る　（益田市　梅津　穂さん）
初詣で　出水柄杓で　身を清め　（益田市　渡辺美寿子さん）
清流に　思羽美し　おしどりが　（益田市　加藤　富之さん）
供えおえ　心清らに　年を待つ　（益田市　宮川　香さん）
ほんとかな　清廉潔白　大臣さま　（益田市　和﨑冨久代さん）
初日の出　皆んなでおがむ　清らかさ　（津和野町　古山　包子さん）
孫と遊び　清い心を　取り戻し　（津和野町　勝間　竹代さん）
清き水　しぶきとび散る　岩のカベ　（津和野町　住吉　良子さん）
清し　九十五歳の　誕生日　（津和野町　褌坂庄之進さん）
わが心　清という字が　いくつある　（津和野町　御手洗孝枝さん）
成りたいな　心清らか　婆ちゃんに　（津和野町　渡部　広子さん）
今年も　清く正しく　生きましょう　（津和野町　大庭アサ子さん）
トンネルと　舞台の違い　清水や　（津和野町　大羽ミヤ子さん）

川柳「思い出」の投稿数　津和野町15通、吉賀町1通、益田市16通

4月のお題は「新」です
応募お待ちしております

川柳応募方法
●葉書に　川柳、住所、氏名、電話番号をご記入ください。●締切　平成30年３月12日（当日消印有効）
●あて先　〒698-0024　益田市駅前町15-1　JAしまね 西いわみ地区本部 企画管理部 ふれあい課

益田税務署からのお知らせ

確定申告はお済みですか？

所得税及び復興特別所得税、贈与税の申告・納税は
3月15日（木）まで
個人事業者の消費税及び地方消費税の申告・納税は
4月2日（月）まで

確定申告書の作成は、便利な「確定申告書等作成コーナー」で！

作成した申告書は

e-Taxで送信
又は書面で提出

※事前準備が必要です。

マイナンバーの入力と本人確認書類の提示又は写しの添付が必要です。
ただし、e-Taxで送信すれば本人確認書類の提示等は不要です。

マイナンバーキャラクター
マイナちゃん

便利で確実な 振替納税をご利用ください

納税のために金融機関や税務署に出向く必要がなく、大変便利で確実な納付方法です。
お申込は、「預貯金口座振替依頼書兼納付書送付依頼書」に必要事項をご記入・押なつの上、申告期限までに税務署又は金融機関に提出してください。

「預貯金口座振替依頼書兼納付書送付依頼書」の用紙は「国税庁ホームページ」からダウンロードできます。

平成29年分の振替日

【所得税及び復興特別所得税】	4月20日（金）
【消費及び地方消費税（個人事業者）】	4月25日（水）

消費税の確定申告が必要な方

① 平成27年分の課税売上高が1,000万円を超える事業者

② 平成27年分の課税売上高が1,000万円以下の事業者で、平成28年12月末までに「消費税課税事業者選択届出書」を提出している事業者

③ 平成27年分の課税売上高が1,000万円以下であっても、特定期間（平成28年1月1日から6月30日）の課税売上高又は給与等支払額が1,000万円を超える事業者

確定申告が間違っていたとき

確定申告を提出した後で、計算誤りなど申告した内容に間違いがあることに気付いた場合は、次の方法で訂正することができます。また、確定申告することを忘れていた場合は、できるだけ早く申告するようにしてください。

税額を多く申告していたとき⇒「更正の請求」

更正の請求書は、次の期間内に提出してください。
○ 平成25年分～平成29年分・・法定申告期限から5年以内

税額を少なく申告していたとき⇒「修正申告」

修正申告によって納める税額には、延滞税がかかる場合がありますので、できるだけ早く申告・納付するようにしてください。また、加算税が賦課される場合があります。

確定申告を忘れていたとき

提出期限に遅れて申告した場合などには、新たに加算税がかかる場合があるほか、法定納期限の翌日から納付日までの延滞税を併せて納付しなければならない場合がありますので、ご注意ください。

税務職員を装った「振り込め詐欺」にご注意ください

税務職員を装い、現金自動預け払い機（ATM）を操作させ振込みを行わせる「振り込め詐欺」による被害が発生しております。

- 税務署や国税局では、還付金受取のために金融機関等のATMの操作を求めることはありません。
また、国税の納税のために金融機関の口座を指定して振込みを求めることもありません。
- 内容について不振に思われた場合には、一旦電話を切って、最寄りの税務署にお問い合わせください。

申告手続などにはマイナンバーの入力と本人確認書類の提示又は写しの添付が必要です。ただし、e-Taxで送信すれば本人確認書類の提示等は不要です。

詳しい情報は国税庁ホームページへ 国税庁 で 検索

※ 税務署へ来署される皆様へ
税務署の駐車場は駐車スペースが少なく、申告期間中は混雑が予想されますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

問い合わせ先／益田税務署 TEL（0856）22-0444

チンゲンサイ

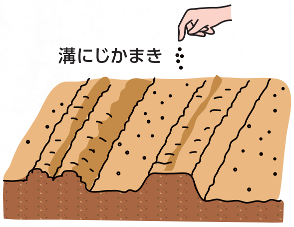
板木技術士事務所●板木利隆

中国華中地方の原産で、中国名は「青梗菜」。ハクサイの仲間ですが、茎が青くて結球しないのでこの名があります。戦後中国から導入された野菜は数々ありますが、チンゲンサイはその代表選手といえましょう。
一番の特徴は、火を通すと緑色が鮮やかさを増し、煮崩れ、目減りが少ないことですが、あくがなく、煮物、炒め物、おひたし、あるいは漬物にと使い道は広がります。

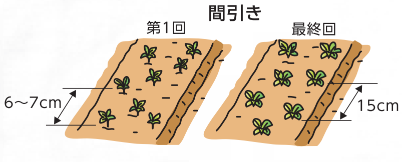
冷涼な気候を好み、生育適温は15～22度ですが、暑さ寒さにも葉菜類のうちではかなり耐える方で、４月下旬から９月中旬まで種まきでき、案外育てやすいので、家庭菜園にお薦めの野菜です。

畑にじかまき、または育苗して植え付けと両方ともできますが、長い間収穫を楽しむにはじかまきを、そろった良品を畑の回転良く収穫するには128穴のセルトレイ育苗をと、使い分けると良いでしょう。

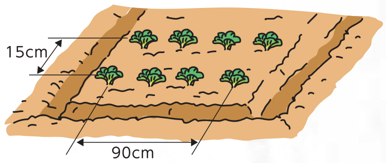
じかまきの場合には、あらかじめ全面に完熟堆肥、油かす、化成肥料を15cmぐらいの深さに耕し込み、準備しておいた畑に、くわ幅（15～17cm）のまき溝を作り、２～３cm間隔に種をばらまきします。覆土は２～３cm厚さとします。夏に向かう栽培では防乾、防暑のために、まいた上に切りわらまたはもみ殻、完熟堆肥を細かく砕いたもののいずれかで薄く覆っておきます。



発芽したら本葉３～４枚の頃６～７cm間隔に、その後逐次間引き最終株間を15cmぐらいになるようにします。生育中15～20日置きに株の周りに肥料をばらまき、軽く土と混ぜ合わせておきます。

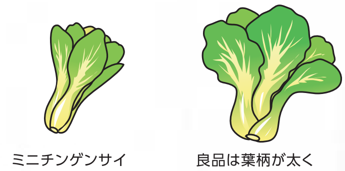


チンゲンサイは下の方の葉と葉の間に隙間ができ、泥跳ねにより土が入りますので、フィルムマルチが有効です。じかまきの場合には、90cm幅のベッドを作り、15×15cm間隔の穴開き黒色ポリフィルムを敷き、穴に５～６粒種をまき、発芽したら込み合わない程度に逐次間引き、本葉７～８枚で１本立てとします。追肥は必要に応じて株間に指先で穴を開けて施します。



育苗の場合にも同じくベッドを作り、あらかじめ15cm間隔の穴開き黒色ポリフィルムを敷き、その穴に本葉７～８枚に育った苗を１株ずつ植え付けます。

種まき後、春は45～55日、夏は35～45日ぐらいたち、草丈が18～20cm、150gぐらいに育ったら収穫します。家庭用ならその半分ほどに育った頃からミニチンゲンサイとして収穫、切らずに株ごと料理に用いるのも良いでしょう。



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

クロスワードパズル

出題●ニコリ

タテのカギ

②在校生の送辞に対する卒業生の返事
⑤15日間ある大相撲なら8日目
⑦ケーキを焼く前にオーブンを――した
⑨大学――に向けて受験勉強しています
⑪日によって値段が変わるメニューにはこう書かれます
⑫宇野重吉と寺尾聰、渡辺謙と杏
⑭国民の三大――は教育･勤労･納税です
⑯食材をいぶして作ります
⑱石原裕次郎のヒット曲『――よ今夜も有難う』
⑳豚カツの衣の一番外側
㉑永世中立国として有名。首都はベルン

ヨコのカギ

①お内裏さま、五人ばやしといえば
②胸びれを広げて滑空します
③――学生、修道――
④ラディッシュとも呼ばれます
⑥水を多めに入れて炊いた米
⑧ドライバーで締め付けます
⑩とっくりを持ってお――した
⑬円を描くときに使う文房具
⑮大、小、裸から連想される穀物は
⑰定規を使うときれいに引けます
⑲クルミやドングリが似合う小動物

二重マスの文字をＡ～Ｅの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	5 (D)	9		14	18	
■	6		■	15	(E)	■
2			12	■	19	21
	■	10	(C)	16	■	
3	7	■	13		20	
■	8 (A)	11	■	17		■
4					(B)	

答え

A	B	C	D	E

応　募　要　項

●応募方法　ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見･ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
●賞　　品　正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「ＪＡ商品券」をお贈りします。
●当選者発表　賞品の発送をもってかえさせて頂きます。
●宛先・締切　〒698-0024　益田市駅前町15-1
ＪＡしまね　西いわみ地区本部　ふれあい課　「クイズ」係
平成30年3月5日（月）（当日消印有効）

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

◆先月号の答え◆
「フキノトウ」

1 ト	6 ウ (E)	9 キ	■	14 モ	18 ナ	21 カ
■	7 ロ	ン	11 リ	■	19 ツ	ノ (C)
2 シ	コ	■	12 レ	15 ツ	ト	ウ
ユ	■	10 ユ	キ (B)	ミ	■	セ
3 ク	8 チ	バ	シ	■	20 ア	イ
4 フ (A)	エ	■	13 ヨ	16 ホ	ウ	■
5 ク	ス	リ	■	17 オ	ト (D)	モ

けんこうさんぽ
健康散歩
JA島根厚生連

耳の健康と衛生チェックをしよう

耳は、私たちが生活をしていく上で外部から音の情報を得るための大切な器官です。ところが、耳の健康については、「聞こえ」が悪くなる症状が出るまで、あまり気にしない人が多いのではないでしょうか？耳の病気には、ある日突然原因不明で片耳が聞こえなくなる「突発性難聴」や、耳の奥に炎症を起こす「中耳炎」「内耳炎」など、早めに治療しないと「聞こえ」のレベルが下がったままになるものもあります。耳の不調を感じたら、まずは耳鼻咽喉科を受診しましょう。

「こんなときは耳鼻咽喉科に受診を」

・耳が塞がった感じがする
・音が響いて聞こえる めまいがする
・耳鳴りがする 耳が痛い
・普段と違う耳垢（みみあか）がとれる

普段も耳を掃除するときには、つぎの点に注意して行いましょう。

耳の掃除の目安は、2～3週間に1回程度。耳垢には皮膚を保護したり、虫の侵入を防いだりする役割もあるので、掃除し過ぎないことが大切です。

耳の掃除には耳掻きや綿棒を使いましょう。マッチ棒や爪楊枝など耳掃除用でない物は、使うと外耳道を傷つけてしまいます。

使用後の耳掻きは、アルコールが含まれたウェットティッシュで拭くなどすると衛生的です。

来月、3月3日は日本耳鼻咽喉科学会が定める「耳の日」です。この機会に、耳の健康についてチェックしてみませんか？

JAしまねびより1月号の記載内容に関するお詫びと訂正

P.9．平成29年度島根中央子牛共進会結果報告
第２区４席　出品№34　（誤）松浦　雅子　→　（正）松浦　正子
謹んでお詫びいたしますとともに、訂正させていただきます。

生産者の皆様へ

生産者の声を反映した 大型トラクターの共同購入提案スタート

ＪＡ全農は、担い手からの生産コスト低減要望に応え、生産現場の声を反映した60馬力クラスの低価格モデルトラクターの共同購入に取り組んでいます。「共同購入の取り組み」をわかりやすく生産者に伝えるパンフレットとＤＶＤ（動画）を作成し、１月18日、全農ホームページ（リンク先　http://www.zennoh.or.jp/teicost/nouki/index.html）に公開しました。今後、パンフレットと動画は担い手への個別訪問時や会議・研修会等の場で広く紹介していきます。

共同購入の目標台数は全国1,000台（平成30～32年・３か年）で、県域担い手サポートセンター、県域ＴＡＣ部署の協力を得ながら生産者への提案活動を行い、平成30年３月末までに共同購入事前申込書のとりまとめをすすめています。

ＪＡグループの組織力を活かし、広く生産者に共同購入を呼びかけ、事前申込で積上げた台数を背景に全農が大量・一括購入することで、担い手へより安く供給することをめざします。

全国の生産者が共同購入に結集し低価格を実現しよう！

ＪＡグループは、生産現場の声を反映した大型トラクターを開発要求しました。

JAグループ/全農

平成31年4月採用

「JAグループ島根就職説明会」の開催

とき　平成30年3月25日(日)　受付12:00～　開催12:30～16:00

ところ　ラピタウェディングパレス 3F 鳳凰の間
出雲市今市町87　TEL：0853-21-6063

※会場にはJAしまね各地区本部と、一部連合会等のブースが設置されています。
※当日は、エントリーシートを持参してください。エントリーシートは3月1日以降に右記JAしまねのホームページの「採用情報」のページあるいは地区本部、連合会等のホームページからプリントアウトしてください（複数のブースの説明に参加される場合にはブース毎に準備ください）。
※就職説明会への参加の有無が採用選考に影響することはありません。

【対象】大学・短大・高専・専修学校を平成31年3月に卒業見込みと3年以内に卒業した方

【お問い合わせ先】
〒690-0887 島根県松江市殿町19-1
JAしまね 人事教育部 人事課
TEL：0852-35-9016
FAX：0852-35-9024
ホームページ　http://ja-shimane.jp/
E-mail　jinji.hon@ja-shimane.gr.jp

参加組織
JAしまね
JA島根厚生連
（一社）JA島根電算センター

JAしまね
島根県農業協同組合

マイナビ2019
マイナビでエントリー受付中

臨床試験で確認済！

目のピント調節機能をサポート

本品にはアスタキサンチンが含まれます。アスタキサンチンは、正常な目のピント調節機能を維持することで、日常的なパソコンなどのVDT作業による疲労感を軽減することが報告されています。

機能性表示食品

●届出番号：A299

パソコン・スマホが手放せない方に

Kyoyaku

アスタキサンチンプラス

60粒（30日分）／4,500円（税込4,860円）

1日の目安2粒

お問い合わせ

クミアイ家庭薬配置員　または

協同薬品工業（株）島根営業所　☎0853-73-7430

A·COOP クミアイ家庭薬

島根県産生乳を飲んでにゃ〜！

問い合わせ先

島根中酪株式会社　☎(0853)22-5300　E-mail：churaku@m1.izumo.ne.jp

〒693-0065　島根県出雲市平野町302番地

島根産まれの食材レシピ

しまねうれしぴ

料理研究家　土井小百合

豚肉の塩みぞれ鍋

大根を1本全部使って作る、つけだしなしで食べられる、とってもおいしい塩味の鍋です。スープも全部飲めます。寒い日に体も心も部屋もぽかぽか温まります。

●材料（４人分）　　１人分285Kcal

豚肉	400g	しめじ	1袋
だし汁	3カップ	焼き豆腐	1/2丁
酒	1/4カップ	水菜	1/2袋
にんにく	1かけ	大根	1本
白菜	4枚	しょうゆ	小さじ1
えのき	1袋	塩	小さじ2

●作り方

①豚肉は食べやすい大きさに切る。
②大根はすりおろす。
③白菜は４～５㎝に切る。
④しめじ、えのきは石づきを取り、ばらす。
⑤水菜は４～５㎝に切る。
⑥鍋にだし汁、酒、つぶしたにんにくを入れ火にかける。
⑦煮立ったら、豚肉、白菜、しめじ、えのき、焼き豆腐を入れる。
⑧塩、しょうゆで味付けし、大根おろしを加えひと煮たちさせ、水菜を加える。

カブサラダ

大きく切ったカブの食感とクルミの食感がおいしいサラダです。マヨネーズを減らしヨーグルトで和えるのでヘルシーです。5分もあれば完成なので、生のカブの甘味を楽しんで食べてみてください。

●材料（２人分）

白カブ	1～2個	マヨネーズ	大さじ1
カブの葉	1/2個	ヨーグルト	大さじ1と1/2
クルミ	20g	レモン汁	小さじ1/2
		オリーブ油	大さじ1/3
		黒コショウ	少々

●作り方

①カブの葉は小口切りにし軽く塩でもみ、しんなりしたら水洗いししぼる。
②カブは皮をむき半分に切り繊維にそってくし形に切る。
③ボールに調味用を入れ、カブ、カブの葉を入れ混ぜる。
④皿に盛ってから粗く刻んだクルミを乗せ、黒コショウをふる。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村　直通（ののむらなおみち）先生に描いていただいています。

今月の表紙は、石見神楽です。石見神楽は、島根県西部（石見地方）で受け継がれている伝統芸能で、日本神話などを題材とした、演劇性の高い神楽です。描かれているのは演目「道返し（ちがえし）」で、常陸（ひたち）の国に住む武甕槌（たけみかづち）の命（みこと）が世界各地を荒し廻った大悪鬼を退治する神楽です。石見神楽では珍しく鬼が降参し、許されると言う形で終わり、鬼を殺さずに道の途中から返すので道返しといいます。

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

編集後記

今月の表紙に描かれている石見神楽は、私の出身の石見地方ではとてもなじみ深いものです。祭りなどではいつも演じられていて、笛や太鼓の音を聞くと気持ちが高まります。中でも、よく最終演目で演じられる八岐大蛇（やまたのおろち）は、演出が派手で私も大好きです。（藤）

JAしまねびより

本誌は地球環境に優しい植物油インキを使用しております。
VEGETABLE OIL INK

JAしまね　公式ホームページ
http://ja-shimane.jp/

2018年2月14日付発行（月1回発行）
編集／JAしまね　ふれあい福祉課・西いわみ地区本部　ふれあい課
発行／島根県農業協同組合　西いわみ地区本部
〒698-0024 益田市駅前町15-1　TEL.0856-22-1589　FAX.0856-23-0788